

当日質問

Q1 実際に清掃工場を稼働し、市民からの苦情はありませんでしたか。

A1 稼働を開始した年、住民の方から夜に煙突から炎が出ているけど大丈夫なのか、という連絡を何件か受けたことがありました。

これは、夜間に煙突に設置してある赤色航空障害灯が白煙に映り、あたかも煙突から炎がでてるように見えたものでした。

その後、ふじみ衛生組合では住民の方へきちんと説明を継続した結果、2年目からはそういった連絡もなくなりました。

どちらかと言えば、稼働開始前の方が、臭いや騒音、交通渋滞が心配だといった問合せをたくさんいただきましたが、結果としましては稼働を開始してからの苦情は一切ありません。

臭気対策については、計量棟を場内に設置し、プラットホーム入口を二重扉とすることで同時開閉しないようにし臭気漏洩を防止しています。

また、年に1回3週間程定期点検で焼却炉を停止する際には、活性炭素を通し100mの煙突（臭突）から排出しておりますので全く苦情はございません。

また、騒音や振動の発生しやすいものについては独立基礎とし、壁にも工夫を施しております。扉についてもほとんど音のしない扉を使っておりますので一切苦情はございません。

交通渋滞の対策としては、ごみ収集車の搬入ゲートを3箇所に分け、ごみ収集車1日あたりの平均台数から計量機やごみ投入扉の設置台数、扉の開閉時間まで計算しましたので渋滞が発生したことはございません。

Q2 煙突の高さを決めた段階で市民8割の賛成だったとのことですが、それは市民検討委員のメンバーだけの賛成なのですか。

A2 まずは、市民委員の8割の方から賛成をいただいております、それを基に説明会等も実施しております。

また、三鷹市1,500名 調布市1,500名の20歳以上の方を対象とした無作為抽出によるアンケートを実施しておりますが、そこでも反対はございませんでした。

環境影響評価や施設に関することにつきましては、必ず節目ごとに説明会等を実施し住民の皆さまへ意見を聞くようにしてきました。

当日質問

Q3 住宅の真ん中に建設されて住民の反対はなかったのですか。

A3 当然ありました。

一番の反対の理由は、調布市は以前、小金井市と府中市の3市で構成されている二枚橋衛生組合で焼却をしていたのですが、その焼却場の敷地も住居表示が調布市でした。

そしてこのふじみ衛生組合も調布市でしたので、調布市の中に2つも焼却場を建てることは絶対反対だとのことで、平成11年に「絶対反対の会」というのができました。

そこで、白紙の段階で市民の皆さまと議論をしても、なかなか活発な議論ができないだろうということで、平成11年から平成12年に掛けまして、市民とともに検討するためのたたき台「新ごみ処理施設整備基本計画素案報告書」を作りまして平成13年に説明会を開催しました。

そうしましたところ、このたたき台の中に建設候補地「ふじみ衛生組合」と名前が載っておりまして、これを見た途端、ふじみ周辺から大反対運動が起こりまして、焼却場建設反対のプラカードが周辺一体にずらっと並びました。

みなさんからは、なんでここに建設するのだと、今まである焼却施設の場所を使えば良いではないかと。

実は、今までの二枚橋衛生組合での建替えも計画していたのですが、そちらでも大反対運動が起きており、なかなかうまくいかない状況でした。

そこで、一つの説得材料として3市で600トンでやっていたものを200トンまで小さくすることで、建替えを認めてもらうことを考えました。

それで600トンはどうやって200トンにしようとしたかといいますと、府中市の半分を他所へ持って行きます。調布市の全量他所へ持って行きますということで200トンにするという計画でした。

二枚橋衛生組合の計画では調布市は抜けてしまっておりましたので、調布市としてはここに建てたかったです。

ということで、先程のたたき台を出した途端に大反対運動となりました。

ふじみ衛生組合としても、週一回のペースで、住民の皆さまと膝を交えてお話しさせていただきました。

その中で、住民の皆さんの意見としては、焼却場が無いと困ることは分かるが、ただ地元には建設して欲しくないとのことでした。

私達職員も住民の皆さんと話をしていく中で、どこかに建設すること

当日質問

事態は已むを得ないということは確認させていただいたのですが、ただ、ここに建設をすることは反対ということでした。しかし、いずれか市民生活を守らなければいけないわけですから、ここではないかも知れませんが、どこかにはできてしまいますよと、であるならば周辺で検討する会を立ち上げますから、みなさんも外野で反対するのではなくて、代表者を2名でも3名でも良いので入っていただき、そこで皆さんの意見を他の市民にぶつけてください。それで他の場所になるのであれば、ふじみ衛生組合としてもこの場所に固執しているわけではないですよと話をさせていただきました。

実際に20名の検討委員会の内、3名が「絶対反対の会」から委員さんに入っていただき、場所の問題2年3カ月に渡って喧々諤々と議論しました。

その結果、6箇所までは候補地を絞り込みすることができたのですが、いざ、1箇所の絞り込もうとすると、何度も議論をしても、絶対に近くには建設するなといったことになってしまい1箇所に決めることはできませんでした。

当然、候補地の6箇所周辺から検討委員さんは入っておりますので、いくら議論しても決まらないわけです。ということで、住民のみなさんも最後はもう限界であると、この後は、調布市の方で6箇所から1箇所に絞り込んで欲しいと言われました。

その代わり、勝手に絞り込んで貰っては困るよと、我々の検討委員会の中で決めた14項目（土地の面積、道路付け、周辺の人口密度等）の相対比較項目を作成するので、それを使って行政側で決めて欲しいとのことでした。

その結果、最終的に行政側で、ここふじみ衛生組合が一番良いという結果になりまして、広報でのお知らせや説明会を何十回も開きました。

それ以降については、ここに建設するのであれば「日本で一番の施設にしてよ」というようになってきて、十数年かかりましたが、今では住民の方と一緒にふじみ祭りなどの行事もできるような関係になってきました。

ですので、全く反対がなかったということはありません。

当日質問

Q4 地域振興策については何かあるんですか。

A4 地域振興策につきましても地元のみなさんにお伺いしました。

余熱利用の施設についてどうですかということで提案いたしました。

結論としまして、いらないという意見でした。特に、地元の皆さまからのいらないという意見がございました。

地元の皆さんがおっしゃるには、三鷹市にも調布市にも温浴施設やプールは既にあるでしょ。ただでさえ、ごみ焼却場ができると、収集車が1日に約190台、多い時には320台も集まってくるのに、温浴施設など整備したら更に車の利用者が集中してしまう。

これ以上、車両を集中させないでほしい。それが、地元の切実な願いでした。

地元からの要望としましては、これからの時代を担う、小学生へ徹底的に環境教育を行ってほしい。これが1つ目の地元からの要望でした。

2つ目は、この場所は調布市民にとって、一番外の場所であり公共施設が無いので、せめて会議室を貸してほしいということでした。

この2つが「ふじみ衛生組合」にだされた要望であります。

それと、調布市役所に対しましては、市役所の出張所的なものを整備してほしいとの要望がございました。

この要望については、今後の課題となっております。

地域振興策については、この3つの要望だけとなっております。

Q5 清掃工場からの排水はどうしているのですか。

A5 「ふじみ衛生組合」では、年間23,600トンの水を使用しています。

これについてはできるだけ、再利用することになっておりますので、循環利用しております。

ただ、全て利用することはできませんので、オーバーフローした分については水処理をして、下水道放流基準以下にして下水道に放流しておりますので、一般の河川や田畑への直接放流はしておりません。

全て再利用又は下水道放流ということで周辺的环境へ影響を及ぼすということは一切ございません。

Q6 ふじみ衛生組合で働いている人はどのくらいいますか。

A6 焼却施設の運転は民間会社組織で運営しておりますが34名となっております。

ふじみ衛生組合としましては、正規職員が12名、嘱託・臨時・パート職員で18名、リサイクルセンターで56名となっております。